タイガー わきたてポット

品番 **PFH**型

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる
ところに必ず保管してください。

もくじ　　ページ

点検、修理などを依頼されるときなどのために記入しておくと便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL　（　　）

日本国内100V専用（交流100V以外の電源では使用できません。）

安全上のご注意（ご使用になる前によくお読みの上、必ずお守りください。）

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
◆注意事項は、誤った使い方で生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠警告

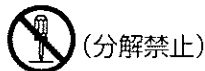
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意

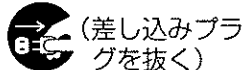
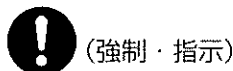
「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

◆絵表示の例

この絵表示は行為を「禁止」する内容です。

（分解禁止）

この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。

（強制・指示）

（差し込みプラグを抜く）

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。

火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーのもよりの支店、営業所にご相談ください。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

交流100V以外では使用しない。

火災・感電の原因。

電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因。

電源コードは傷んだまま使用しない。

（傷つける・無理に曲げる・引っぱる・ねじる・たばねる・高温部に近づける・重い物を載せる・挟み込む・加工するなど）
電源コードが破損し、火災・感電の原因。

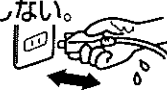
差し込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。

感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

⚠警告

ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しをしない。

感電やけがをするおそれ。

差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。

火災の原因。

器具用プラグ（磁石式）の先端にピン等金属片やごみを付着させない。

感電・ショート・発火の原因。

器具用プラグをなめさせない。

乳幼児が誤ってなめないように注意すること。
感電やけがの原因。

水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電のおそれ。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。

やけど・感電・けがをするおそれ。

満水目盛以上の水を入れない。

お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

上ぶたを確実に閉める。

倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

ポットを転倒させない。

プッシュボタンが上がってフラップを閉じた状態にしていても、傾けたり倒したりしない。
お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

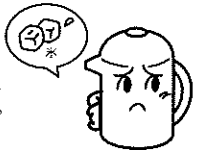
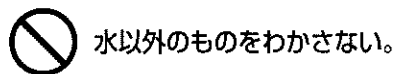
蒸気孔をふきんなどでふさがない。

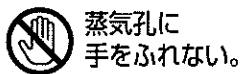
お湯がふきこぼれて、やけどをするおそれ。

抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよく振ったり、衝撃を加えない。上ぶたを持って移動しない。

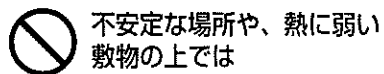
プッシュボタンが上がってフラップを閉じた状態にしていても、傾けたり倒したりしない。
お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

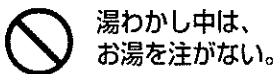
氷を入れて保冷用に使わない。

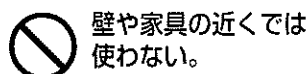
冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれ。

⚠警告

水以外のものをわかさない。

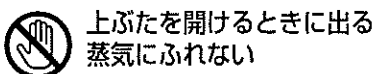
お茶、牛乳、酒、ティーバッグやお茶の葉、インスタント食品などを入れて使用すると、泡立ってふきこぼれ、やけどのおそれ。
また、こげつき、腐食、故障の原因。

蒸気孔に手をふれない。

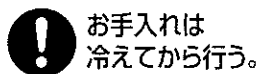
やけどをするおそれ。
特に乳幼児には、さわらせないように注意すること。

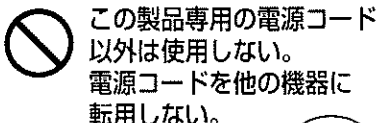
⚠注意

不安定な場所や、熱に弱い敷物の上では使用しない。

火災の原因。

湯わかし中は、お湯を注がない。

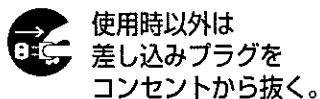
お湯が飛び散り、やけどの原因。

壁や家具の近くでは使わない。

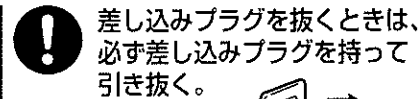
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因。
キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意すること。

上ぶたを開けるときに出る蒸気にふれない

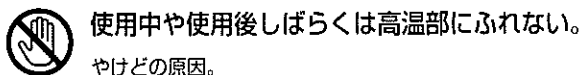
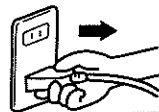
やけどの原因。

お手入れは冷えてから行う。

高温部に触れ、やけどのおそれ。

この製品専用の電源コード以外は使用しない。電源コードを他の機器に転用しない。

故障・発火のおそれ。

⚠注意

使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く。

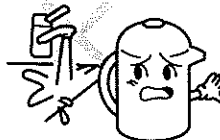
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

差し込みプラグを抜くときは、必ず差し込みプラグを持って引き抜く。

感電や、ショートして発火するおそれ。

使用中や使用後しばらくは高温部にふれない。

やけどの原因。

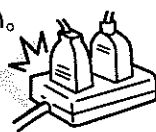
お願い

●水のかかりやすい場所では使用しない。丸洗いはしない。底部はぬらさない。蛇口から直接水を入れない。

本体内部に水が入り、ショート・感電・故障の原因。

●熱に弱いテーブルなどの上に置かない。

テーブル、敷物などが変色、変形するおそれ。

●タコ足配線はしない。

火災のおそれ。

●プッシュボタンを押し下げたままにしない。

倒れた場合にお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

末永くご使用いただくために、必ずお守りください。

●直射日光が長時間あたる場所では使用しない。

本体が熱くなるなど、故障の原因。

●蒸気孔をフキンなどでふさがない。

上ぶたの変形の原因。

●火気の近くでは使用しない。

変形・故障の原因。

●カラだきをしない。

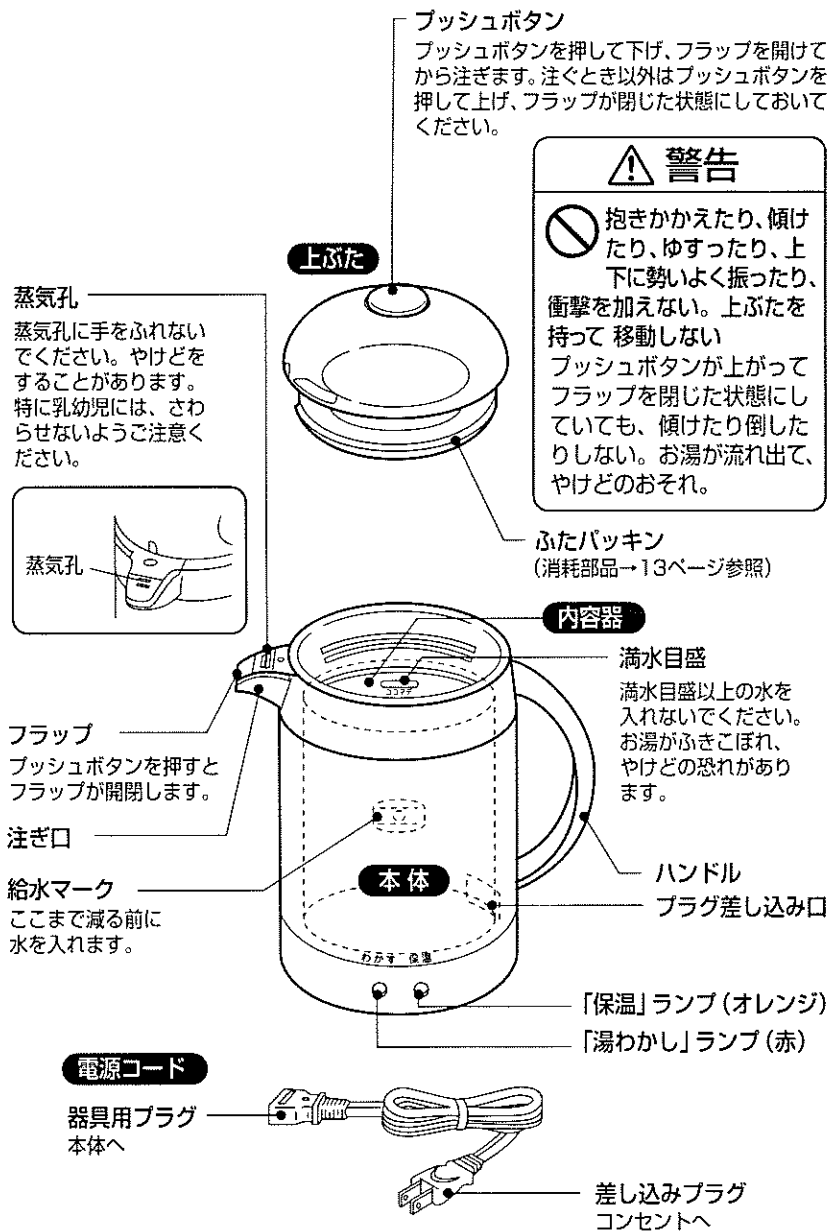
水を入れないで通電すると、内容器の熱変色、故障の原因。

●本体をさかさにしない。

底部が水にぬれていると、底部から水が入り、故障の原因。

●備長炭などの炭を入れて使用しない。

故障の原因。

各部のなまえとはたらき

プッシュボタン
プッシュボタンを押して下げ、フラップを開けてから注ぎます。注ぐとき以外はプッシュボタンを押して上げ、フラップが閉じた状態にしておいてください。

⚠警告

🚫 抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよく振ったり、衝撃を加えない。上ぶたを持って 移動しない
プッシュボタンが上がってフラップを閉じた状態にしていても、傾けたり倒したりしない。お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

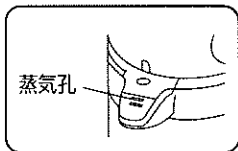
上ぶた

蒸気孔
蒸気孔に手をふれないでください。やけどをすることがあります。特に乳幼児には、さわらせないようご注意ください。

蒸気孔

ふたパッキン
（消耗部品→13ページ参照）

内容器

満水目盛
満水目盛以上の水を入れないでください。お湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

フラップ
プッシュボタンを押すとフラップが開閉します。

注ぎ口

給水マーク
ここまで減る前に水を入れます。

本体

ハンドル

プラグ差し込み口

わかす　保温

「保温」ランプ（オレンジ）

「湯わかし」ランプ（赤）

電源コード

器具用プラグ
本体へ

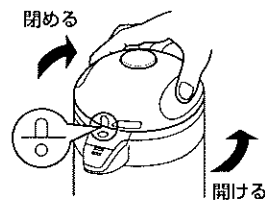
差し込みプラグ
コンセントへ

- この電気ポットは、水を入れると自動的に湯わかしを行い、そのまま自動的に保温します。
- 冬場などに室温が低くなり、保温中の湯温がさがることがあると、自動的に湯わかしをするしくみになっています。また湯量が少なくなると湯温もさがりやすくなり、自動的に湯わかしに切り換わることがあります。少なくなる前に水を入れてご使用ください。
- この製品のお湯は、完全には沸とうされません。

使い方（ご使用前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。）

上ぶたの開け方、はずし方

開け方
矢印（開ける）方向にまわします。

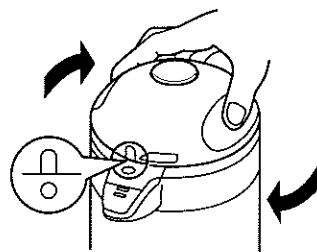
※プッシュボタンが下がっていると、上ぶたがまわりません。

閉め方
①上ぶたの▯印と注ぎ口の○印を合わせて上ぶたをはめます。
②矢印（閉める）方向にまわし、再び▯印が○印の位置にくるまできっちりと閉めます。

※▯印と○印を合わさずに上ぶたをはめると、回しても確実に閉まりません。

1 水を入れる

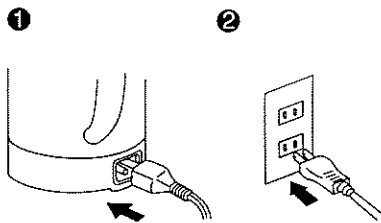
- 上ぶたをはずし、やかんなどで水を入れます。

- 「満水目盛」以上の水を入れないでください。お湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。
- 水道の蛇口から直接水を入れないでください。あふれるとショート・感電のおそれがあります。
- 「給水マーク」以下の水でわかさないでください。カラだきによる内容器の変色、故障のおそれがあります。

2 上ぶたを閉める

- ゆっくり確実に閉めます。
（閉め方→上記参照）

- 上ぶたが確実に閉まっていないと、湯わかしが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が多量に出てやけどのおそれがあります。
- 上ぶたの閉め方が不充分ですと、フラップの作動が悪くなります。必ず確実に閉めてください。

はじめてお使いになるときやしばらく保管されていたときは、一度手順どおりにお湯をわかしたあと、そのお湯を捨ててからお使いください。

3 プラグを差し込む

●差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふき取ってください。そうしない場合、火災の原因になります。
●器具用プラグ(磁石式)の先端にピン等金属片やごみを付着させないでください。感電・ショート・発火の原因になります。

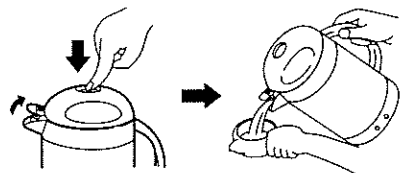
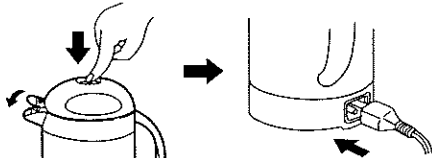
4 湯わかし ➡ 保温

わかす ● 保温 ○ ➡ わかす ○ 保温 ●
❶湯わかし中 ❷保 温

■湯わかし時間の目安：約15分
(水量：満水 水温・室温：20℃ 電圧：100V)

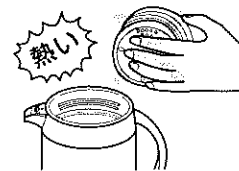
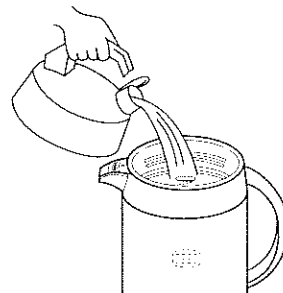
●湯わかし直後は、お湯を注がないでください。お湯がとび散り、やけどの原因になります。
●保温中、室温が低い場合や湯量が少ない場合は、自動的に再度湯わかしをすることがありますが、故障ではありません。

5 お湯を注ぐ

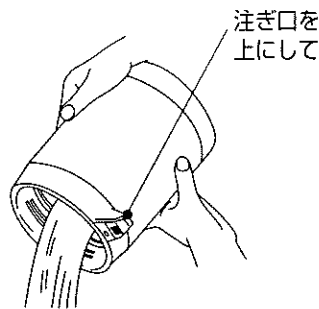
①器具用プラグを本体よりはずします。
②プッシュボタンを押してフラップを開けます。
③ハンドルを持ってゆっくり傾けて、急須などを注ぎ口に近づけて注ぎます。

④注湯後は、必ずプッシュボタンを押して上げ、フラップを閉めておきます。
⑤保温を続ける場合は、器具用プラグを差し込みます。

●お湯がいっぱい入っている場合は、少し傾けただけでお湯が出ますのでやけどにご注意ください。
●器具用プラグを差し込んだままお湯を注がないでください。
器具用プラグがはずれることがあります。
●プッシュボタンを押し下げ、フラップを開けたままにしないでください。倒れたときに、お湯が流れ出てやけどのおそれがあります。

お湯が給水マークの近くまで減ったときは…

●上ぶたをはずし、水を入れてください。自動的に湯わかしを始めます。

●上ぶたを開けるときに出る蒸気にふれないでください。やけどをするおそれがあります。
●上ぶたの内側は熱くなっていますのでご注意ください。やけどのおそれがあります。

●給水マーク以下の湯量で長時間保温すると、故障の原因になります。

●入れる水の量が少なかったり、お湯を入れた場合、すぐに湯わかしランプに切り換わらなかったり、遅れて点灯することがあります。

ご使用後は

①電源コードをはずします。
②上ぶたをはずし、図のような方向から残り湯を捨てます。

●プラグ差し込み口に残り湯がかからないようご注意ください。故障の原因になります。
●注ぎ口を下にして残り湯を捨てると、お湯が手にかかりやけどのおそれがあります。
●残り湯は放置しないでください。内容器の変色やにおいの原因になります。

お手入れの方法

●水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電のおそれがあります。
●丸洗いは絶対にしないでください。本体内部に水が入り、故障の原因になります。
●お手入れするときは、プラグをはずし、残り湯を捨てて、本体が冷えてから行ってください。
●台所用合成洗剤以外（シンナー、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、ナイロンたわし、漂白剤など）は使わないでください。
●食器洗い乾燥機、食器乾燥器に入れて乾燥させないでください。
変形の原因になります。

内容器のお手入れ

内容器の色むらや変色、水中の白い浮遊物について

内容器にできるサビのような赤いはん点、乳白色・黒点・虹色などの変色、白い浮遊物は水に含まれるミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）の作用によるものです。
内容器自体の変色や腐食ではありません。衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきましたら、こまめにお手入れしてください。

●通常はスポンジで洗います。
※クレンザーやたわし類を使わないでください。傷がつき、汚れが落ちにくくなります。
※長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなったり湯わかし中の音が大きくなったりしますので、こまめにお手入れしてください。
●スポンジで洗っても落ちにくい汚れはクエン酸(別売)で洗浄(2~3ヶ月に1回)してください。
※クエン酸は当社の「電気ポット内容器洗浄用クエン酸」(品番:PKS-0120)をお使いください。

クエン酸を使っての内容器の洗浄のしかた

下記の内容を必ず守ってください。泡立ってお湯がふきこぼれたり、やけどのおそれがあります。

●お湯は入れないでください。必ず水から洗浄を行ってください。
●満水目盛以上の水を入れないでください。
●洗浄中は、上ぶたを開けないでください。

①クエン酸約30g（大さじ2～3杯）を内容器に入れる。
②満水目盛まで水を入れて混ぜ合わせ、上ぶたを閉める。
③お湯をわかし、約3時間保温する。
④プラグをはずしてお湯を捨て、汚れが残っている場合はスポンジでこすり落とし、水で充分にすすぐ。
⑤クエン酸のにおいをとるため、水だけで再度通常通りにわかしてお湯を捨てる。
※汚れが落ちにくい場合は、水ですすいだ後再度クエン酸と水を入れてわかし、保温時間を長めにしてください。
※カラだきによる内容器の変色はとれません。

クエン酸は、お求めのタイガー製品販売店または「連絡先」に記載のタイガーのもよりの支店、営業所（連絡先→15ページ参照）で、品番：PKS-0120「電気ポット内容器洗浄用クエン酸(約30g×4包入り)」メーカー希望小売価格：400円（税別）とご指定の上お問合せください。（価格は2002年12月現在）
※内容器洗浄用クエン酸は食品添加物につき、食品衛生上無害です。

ミネラルウォーターやアルカリイオン水を湯わかしした場合

内容器にカルシウム分が付着しやすくなったり、また付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐ場合があります。故障の原因にもなりますのでよりこまめにお手入れしてください。

上ぶた・本体外側

よくしぼったふきんで汚れをふきとってください。

長期間ご使用にならないときは

上ぶた、本体、内容器などの汚れを落とし、乾いた布でふき、自然乾燥してください。(特に内容器は充分に）保管するときは、ポリ袋などで密封してゴキブリなどが入らないようにしてください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。
下記の点検・処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
※ご自分での修理は危険ですから絶対にしないでください。

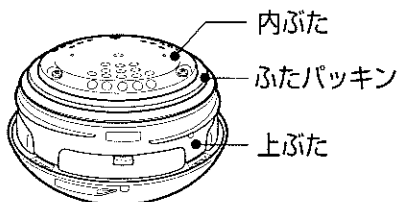
このような場合	点検と処置
お湯がわかない（「湯わかし」ランプがつかない）	プラグがコンセントまたは、プラグ差し込み口からはずれていませんか？ 入れる水の量が少なくありませんか？ →水を満水目盛まで入れる。
「湯わかし」ランプに切り換わらない	約80℃以上のお湯を入れていませんか？ →少しさめたお湯か水を入れる。 カラだきになっていませんか？ →水を満水目盛まで入れる。
お湯が出ない、出にくい	上ぶたは正しく閉まっていますか？ （閉め方→6ページ参照） プッシュボタンを押しましたか？
お湯が自然に出る	水を「満水目盛」以上に入れていませんか？
お湯がにおう	ご使用当初は、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。 水道水に含まれる消毒用塩素（カルキ臭）の量により、わかしたお湯がにおうことがありますが、これは故障ではありません。 ビニールシートなどの敷物の上で使用すると、お湯に敷物のにおいが移ることがあります。
内容器が汚れている お湯に白い浮遊物が浮く	水に含まれるミネラル成分の作用によるもので内容器自体の変色や腐食ではありません。 →クエン酸で内容器を洗浄する。 （9～10ページ参照）
湯わかし中に“ゴー”という音がする	湯わかし中に発生する泡がはじける音で、故障ではありません。 内容器が汚れていると特に音が大きくなります。 →クエン酸で内容器を洗浄する。 （9～10ページ参照）
本体外側が熱い	保温を続けるため、室温が高い場合は本体外側が熱くなりますが、異常ではありません。

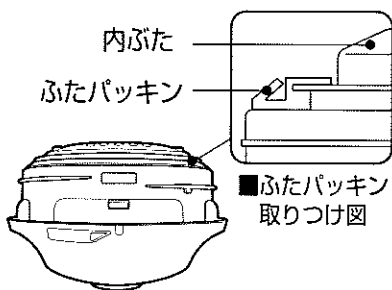
●樹脂成形品の一部に線状および波状の箇所が見える場合がありますが、これはウエルドラインおよびフローマーク（樹脂成形時に発生する線状および波状の跡）でご使用上の品質に支障はありません。

消耗部品の取り替えについて

ふたパッキンおよびその他のパッキン類は消耗部品です。水質や使い方により異なりますが、ご使用にともない傷んできます。汚れや破損がひどくなったり、お湯が出にくくなったり、上ぶたのすき間から蒸気がもれだしたら、新しいふたパッキンと交換(有償)してください。

ふたパッキンのはずしかた

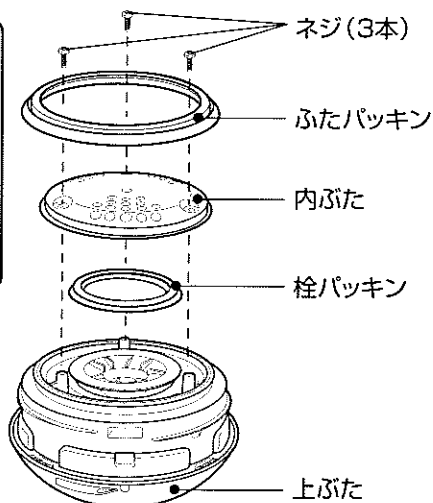
内ぶたのまわりから
ふたパッキンをはずす。
※ネジを内ぶたからはずさなくても
　ふたパッキンははずせます。

ふたパッキンのつけかた

内ぶた外周にふたパッキンを
図の通りにきっちりはめ込む。

■ふたパッキン
取りつけ図

ふたパッキンは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーのもよりの支店、営業所（連絡先→15ページ参照)で、
部品番号：PFH　1027 とご指定の上お問合せください。
※ふたパッキンを交換しても不具合の時は、その他のパッキン類、成形品などが傷んでいる場合がありますので、お問い合わせの上ご相談ください。

樹脂成形品について

※熱や蒸気にふれる成形品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。
「連絡先」に記載のタイガーのもよりの支店、営業所、またはお買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

項目		仕様
容量(約)		1.0L
電源		交流100V 50-60Hz
消費電力	湯わかし電力	405W
	平均保温電力	17W
外形寸法(約)	幅	14.8cm
	奥行	22.5cm
	高さ	25.2cm
質量(約)(電源コードを含む)		1.1Kg
温度ヒューズ		139℃
コードの長さ(約)		1.5m

●保温時の消費電力は、電圧・交流100V、室温20℃、満水保温の場合の平均保温電力です。

●特定地域(高山・厳寒地など)においては、所定の性能が確保できないことがあります。
こうした場所での使用はお避けください。